

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年1月28日

事業所名：チャイルドデイケア「ケンパ井の頭」

保護者数（児童数）：6 回収数：5 割合：83%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	4			1	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか。	4	1			スタッフ増員を切に願っている。ご意見を反映できるよう、引き続き法人人事部へ伝えて参ります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	4			1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
適切な 支援の 提供	1	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	5				
	2	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	3	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	5				
	4	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			1	
	5	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	2	2		1	現在、感染症流行により難しいこともありますが、時期をふまえながら交流する時間を増やしていきます。
保護者 への 説明等	1	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	5				
	2	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」ねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	5				
	3	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）が行われているか。		2	2	1	
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか。	5				
	5	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	4			1	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	5				
	7	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	4			1	
	8	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	5				
	9	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	4			1	
	10	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	4			1	
非常時 等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練を実施されているか。	3	1		1	
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。	2	1		2	保護者を巻き込んだ訓練はされていないので、いざという時に連携が取れないと思う。毎月避難訓練（火災・地震・水害・防犯）を実施しています。今後、引き取り訓練や災害伝言ダイヤル訓練等、保護者との連携のため訓練を追加していきます。
満足 度	1	子どもは通所を楽しみにしているか。	4			1	本人が楽しいか実際はわからないが、様子を見聞きしている感じでは楽しんでいるんだと思っています。今後も記録や送迎時に日中の様子を丁寧にお伝えできるようにして参ります。
	2	事業所の支援に満足しているか。	5				細かな変化や成長に気づいて頂けるので、一緒に見守ってくれているなと感じられ、心強い。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（職員）

公表：令和5年1月28日

事業所名：チャイルドデイケア「ケンパ井の頭」

チェック項目		はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○			今後、児の成長に伴いベッドの設置が必要になると考えています。
	2	職員の配置数は適切であるか。	○			適切な職員数に対し登録児童が増えても、しっかり目が届くよう職員間で意思疎通を図っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			室内や玩具消毒・掃除を徹底しています。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			課題や問題、保護者からの要望等については迅速に職員間で共有し解決に向けた話し合いを全職員で行っています。
	2	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			
	3	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の室の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		令和5年度に東京都認証評価機関による第三者事業評価を受審予定です。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			各職種・各自の目標や課題に沿った研修に参加し、知識・技術の向上に努めています。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			面談を通して保護者のニーズを把握し、希望に沿った計画を作成しています。
	2	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		○		
	3	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	4	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○			支援計画は全職員で話し合い、支援の方法も決めて作成しています。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			各職種のアセスメント結果を元にプログラムを立案し、全体や個人での活動を行っています。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			児発管・保育士を中心に毎日の活動を計画しています。児の特性に応じた活動プログラムを提供しています。
	7	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			職員全員が朝礼に参加し、その日の予定を共有しています。
	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○			毎朝ミーティングを行い、日中は都度声を掛け合い共有しています。
	10	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			各職種が細かく日々の記録をし、情報共有しています。
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			半年に1回以上のモニタリングと面談、その他必要時には面談を追加しています。

チェック項目		はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			コロナ禍であっても、オンライン会議や感染対策を行った上で会議を実施しています。
	2	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○			必要時、関係各所と連絡を取り合い支援を行っています。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	○			
	4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	○			
	5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			他事業所との交流を深め、支援が繋がっていくよう情報共有しています。
	6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			○	
	7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			モニタリングや家庭環境に変化に伴い適宜連絡を取り合い連携しています。
	8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	○			日々の活動の中で、併設保育所の児童・職員との交流を積極的にすすめています。
	9	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			近隣の商店街・併設保育所との交流を図っています。
	10	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			利用記録に活動や体調の詳細を記載し、送迎時・面談時にお話する時間を作っています。
	11	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。		○		
保護者への説明責任等	1	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	2	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			保護者と面談を行い、その話の中から目標支援を立て了承して頂いています。
	3	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	4	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携支援しているか。	○			保護者会を開催し、保護者同士の交流を支援しています。
	5	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	6	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	7	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	○			
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	9	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			毎月1回以上の避難訓練(地震・火災・水害)、不審者対応訓練を実施しています。
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			
	6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	7	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。